

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|--------|--------------|-----------|-----------------------|-------------|------|
| 衛生専門課程 | 美容科 | 夜・通信 | 35 単位 | 7 単位 | |
| | エステティック科 | 夜・通信 | 24 単位 | 7 単位 | |
| | ベーシックビューティー科 | 夜・通信 | 14 単位 | 7 単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

| | |
|----|---|
| 名称 | 教育運営外部評価委員会 |
| 役割 | 教育活動及び学校運営の適正な実施並びに教育の質の向上を図るため、外部有識者で構成され、法令遵守、学校運営、財務状況、内部統制等の専門的見地から意見及び助言を行うとともに、教育活動全般について客観的な視点から検証、評価を実施している。 組織からの意見・提言については、教育課程の運営、学生支援、学校運営等の改善に反映し、教育の質の橋上及び適正な学校運営の推進に活用している。 |

2. 外部人材である構成員の一覧表

| 前職又は現職 | 任期 | 備考（学校と関連する経歴等） |
|--------|---------------------|----------------|
| 弁護士 | 2026. 4～2029. 3. 31 | 法的確認とアドバイス |
| 会計士 | 2026. 4～2029. 3. 31 | 学校経営の助言 |
| (備考) | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業内容、到達目標、評価方法等を明記した授業計画表(シラバス)を毎年度末に各授業担当教員が作成している。作成した授業計画書は、次年度の授業開始に合わせて内容を確認、整備したうえで、毎年4月に各教室へ掲示し、学生が閲覧できるよう公表している。これにより、学生に対して授業内容等の周知を図り、計画的かつ適切な教育活動を実施している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに定期考査を実施し、学習成果の評価を行っている。評価は100点満点とし、5段階(S・A・B・C・R)で判定する。S・A・B・Cを合格、Rを不合格とし、不合格者については再試験を実施する。再試験において所定の基準を満たしたものについては、当該授業科目の履修基準を認定している。</p> <p>また、単位認定については、定期考査において美容科は60点以上の成績を修めるとともに、美容師養成施設指定規則に定める教科課程の基準単位数を満たしていることを要件としている。</p> <p>エステティック科は70点以上の成績を修めるとともに、日本エステティック協会が定める教科課程の基準単位数を満たしていることを要件としている。</p> <p>ベーシックビューティー科では60点以上の成績を修めるとともに、学校が定めた基準単位数を満たしていることを要件としている。</p> <p>なお、授業を欠席した学生については、必要に応じて補習を実施し、所定の学習内容を修得したことを確認した上で単位を授与し、進級および卒業を認定している。</p> | |

| | |
|---|---|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学習成果を客観的に評価するため、各授業科目において定期考査を実施し、100点満点による成績評価を行っている。評価はS・A・B・C・Rの5段階とし、美容科は60点以上、エステティック科は70点以上、ベーシックビューティー科は60点以上を合格基準としている。不合格者(R評価)については再試験を実施し、所定の基準を満たした場合は当該科目の単位を認定している。各授業の成績を基に学業成績を総合的に判定し、進級および卒業認定を行っている。また、欠席者については必要に応じて補修を実施し、所定の学習内容を修得したことを確認した上で単位を授与している。これらの成績評価基準及び単位認定基準については、学生に周知するとともに、毎年4月に各教室へ掲示して、公表している。客観的かつ公平な基準に基づき適切な成績評価を実施している。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育理念及び教育目標に基づき、日本美容文化の向上発展、社会に寄与貢献できる人物育成に重きをおき、美容師として必要な知識、技能、態度を修得した人材を育成することを目的として、卒業認定方針を策定している。</p> <p>卒業認定に当たっては、美容科は美容師養成施設指定規則に定める教科課程の基準単位数を修得し、各授業科目において所定の成績評価基準を満たしたものを対象としている。また、欠席者については必要に応じて補習を実施し、学習内容の修得を確認した上で単位を認定している。卒業認定方針については、学生に周知するため毎年4月に各教室へ掲示し、公表している。卒業認定は学期末、進級前、卒業前の認定会議にて学則及び関係規定に基づき、成績及び修得単位数を総合的に確認した上で、適切かつ公正に実施している。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 収支計算書又は損益計算書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 財産目録 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 事業報告書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 監事による監査報告（書） | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|--------------------|-------------|-------|-------|------|----|
| 衛生 | | 専門課程 | 美容科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | 昼 | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | | 67 単位 | 22 単位 | | 45 単位 | | |
| 学生総定員数 | | 学生実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 60 人 | | 49 人 | 2 人 | 7 人 | 9 人 | 15 人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業内容、到達目標、評価方法等を明記した授業計画表（シラバス）を毎年度末に各授業担当教員が作成している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 授業科目ごとに定期考査を実施し、学習成果の評価を行っている。評価は100点満点とし、5段階（S・A・B・C・R）で判定する。S・A・B・Cを合格、Rを不合格とし、不合格者については再試験を実施する。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 卒業認定に当たっては、美容師養成施設指定規則に定める教科課程の基準単位数を修得し、各授業科目において所定の成績評価基準を満たしたものを対象としている。また、欠 |

| |
|---|
| <p>席者については必要に応じて補習を実施し、学習内容の修得を確認した上で単位を認定している。</p> <p>学期末、進級前、卒業前の認定会議にて学則及び関係規定に基づき、成績及び修得単位数を総合的に確認し認定している。</p> |
| <p>学修支援等</p> |
| <p>(概要)</p> <p>A0 入試入学者、指定校推薦入学者、卒業生家族優遇制度利用者については、入学金の一部を支援。他日本学生支援機構給付型対象者などに授業料の一部または全額の支援をしている。</p> <p>成績優秀者には褒賞を行っている。</p> |

| | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| <p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p> | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 22人 (100%) | 0人 (0%) | 20人 (91%) | 2人 (9%) |
| <p>(主な就職、業界等)</p> <p>美容室、まつ毛エクステ専門店、化粧品メーカー、ネイルサロン</p> | | | |
| <p>(就職指導内容)</p> <p>毎年6月に校内就職ガイダンスを実施。1年生の3月には校外での就職ガイダンスにも参加している。県内県外からくる求人者を自由に閲覧できる形で公表し就職活動しやすい環境の提供と、ビジネスマナーの授業では、就職活動のための指導を行っている。</p> | | | |
| <p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>美容師国家試験受験資格、シェウウエムラメイクアップ技術検定試験、色彩技能パーソナルカラー検定、ネイリスト検定試験3級、サービス接客検定ジェルネイル検定初級まつ毛エクステンション技術者資格、アソシエイトブライダルコーディネーター、アイブロウトリートメント検定3級</p> | | | |
| <p>(備考) (任意記載事項)</p> | | | |

| | | |
|--|----------------|------|
| <p>中途退学の現状</p> | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 52人 | 4人 | 7.7% |
| <p>(中途退学の主な理由)</p> <p>一身上の都合による</p> | | |
| <p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生との定期的な面談、必要があれば保護者との3者面談を実施し、学校生活、家庭での状況を把握するため連携を密にしている。</p> | | |

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|-----|-------------|
| 美容科 | 150,000 円 | 542,400 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|------------------------|----|
| 自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.takayama-bi.jp) | | |
| 第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育活動及び学校運営の質の向上を図ることを基本方針とする。 評価結果及び改善に関する提言については、教職員で共有・検討し、教育活動及び学校運営の改善に反映するとともに、必要に応じて公表することにより、教育の質の保証及び継続的な改善に努める。 | | |
| 第三者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 美容関連企業役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 地域美容組合員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 美容関連団体役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takayama-bi.jp | | |
| (備考) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takayama-bi.jp |
|--|

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|--|
| 貸借対照表 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 収支計算書又は損益計算書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 財産目録 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 事業報告書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 監事による監査報告（書） | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|--------------------|-------------|-------|-------|------|----|
| 衛生 | | 専門課程 | エステティック科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | 昼 | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | | 67 単位 | 28 単位 | | 39 単位 | | |
| 学生総定員数 | | 学生実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 24 人 | | 10 人 | 0 人 | 5 人 | 4 人 | 9 人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業内容、到達目標、評価方法等を明記した授業計画表（シラバス）を毎年度末に各授業担当教員が作成している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 授業科目ごとに定期考査を実施し、学習成果の評価を行っている。評価は100点満点とし、5段階（S・A・B・C・R）で判定する。S・A・B・Cを合格、Rを不合格とし、不合格者については再試験を実施する。 |

| |
|---|
| 卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業認定に当たっては、教科課程の基準単位数を修得し、各授業科目において所定の成績評価基準を満たしたものを対象としている。また、欠席者については必要に応じて補習を実施し、学習内容の修得を確認した上で単位を認定している。 学期末、進級前、卒業前の認定会議にて学則及び関係規定に基づき、成績及び修得単位数を総合的に確認し認定している。 |
| 学修支援等 (概要) A0 入試入学者、指定校推薦入学者、卒業生家族優遇制度利用者については、入学金の一部を支援。他日本学生支援機構給付型対象者などに授業料の一部または全額の支援をしている。 成績優秀者には褒賞を行っている。 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 12人 (100%) | 0人 (0%) | 11人 (92%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) エステサロン、化粧品メーカー、ネイルサロン | | | |
| (就職指導内容) 毎年6月に校内就職ガイダンスを実施。1年生の3月には校外での就職ガイダンスにも参加している。県内県外からくる求人者を自由に閲覧できる形で公表し就職活動しやすい環境の提供と、ビジネスマナーの授業では、就職活動のための指導を行っている。 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) AJESTHE 認定エステティシャン資格、AJESTHE 認定上級エステティシャン資格、JEO 認証エステティシャン資格、ネイリスト検定3級・2級、ジェルネイル検定初級、シェウウエムラメイクアップ技術検定、色彩技能パーソナルカラー検定、アロマセラピーアドバイザー資格、サービス接客検定、化粧品検定2級・1級 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 5人 | 1人 | 20% |
| (中途退学の主な理由) 一身上の都合による | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 学生との定期的な面談、必要があれば保護者との3者面談を実施し、学校生活、家庭での状況を把握するため連携を密にしている。 | | |

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|-----|-------------|
| エステティック科 | 150,000 円 | 480,000 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|------------------------|----|
| 自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.takayama-bi.jp) | | |
| 第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育活動及び学校運営の質の向上を図ることを基本方針とする。 評価結果及び改善に関する提言については、教職員で共有・検討し、教育活動及び学校運営の改善に反映するとともに、必要に応じて公表することにより、教育の質の保証及び継続的な改善に努める。 | | |
| 第三者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 美容関連企業役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 地域美容組合員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 美容関連団体役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takayama-bi.jp | | |
| (備考) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takayama-bi.jp |
|--|

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------------|
| 学校名 | タカヤマアドバンスビューティー専門学校 |
| 設置者名 | 高山 長次郎 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|--|
| 貸借対照表 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 収支計算書又は損益計算書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 財産目録 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 事業報告書 | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |
| 監事による監査報告（書） | ホームページより公表 https://www.takayama-bi.jp |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
|----------|------|--------------------|-------------|-------|-------|----|----|
| 衛生 | 専門課程 | ベーシックビューティー科 | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 62 単位 | 39 単位 | | 23 単位 | | |
| | | | | | | | |
| 学生総定員数 | 学生実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 40 人 | 31 人 | 31 人 | 4 人 | 3 人 | 7 人 | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 授業内容、到達目標、評価方法等を明記した授業計画表（シラバス）を毎年度末に各授業担当教員が作成している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 授業科目ごとに定期考査を実施し、学習成果の評価を行っている。評価は100点満点とし、5段階（S・A・B・C・R）で判定する。S・A・B・Cを合格、Rを不合格とし、不合格者については再試験を実施する。 |

| |
|--|
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定に当たっては、教科課程の基準単位数を修得し、各授業科目において所定の成績評価基準を満たしたものを対象としている。また、欠席者については必要に応じて補習を実施し、学習内容の修得を確認した上で単位を認定している。</p> <p>学期末、進級前、卒業前の認定会議にて学則及び関係規定に基づき、成績及び修得単位数を総合的に確認し認定している。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>留学生については入学金、維持費、教育充実費の一部を支援。</p> |

| | | | |
|---|----------------|-------------------|----------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 11人 (100%) | 6人 (54.5%) | 0人 (0%) | 5人 (45.5%) |
| <p>(主な就職、業界等)</p> <p>美容科へ進学し、美容師免許を取得後の就業を目的としているためこの学科から就職する学生は少ない。</p> | | | |
| <p>(就職指導内容)</p> | | | |
| <p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本語能力試験、J-TEST、ナチュラルビューティースタylist検定、化粧品検定2級、実践日本語コミュニケーション検定</p> | | | |
| <p>(備考) (任意記載事項)</p> | | | |

| | | |
|--|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 27人 | 5人 | 20% |
| <p>(中途退学の主な理由)</p> <p>一身上の都合による</p> | | |
| <p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生との定期的な面談、必要があればアルバイト先の責任者に連絡をし、学校生活、アルバイトの状況を把握するため連携を密にしている。</p> | | |

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|-----------------|-----------|-------------|-----|-------------|
| ヘアシック ビューティ科 | 150,000 円 | 480,000 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|---|------------------------|----|
| 自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.takayama-bi.jp) | | |
| 第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育活動及び学校運営の質の向上を図ることを基本方針とする。 評価結果及び改善に関する提言については、教職員で共有・検討し、教育活動及び学校運営の改善に反映するとともに、必要に応じて公表することにより、教育の質の保証及び継続的な改善に努める。 | | |
| 第三者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 美容関連企業役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 地域美容組合員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 美容関連団体役員 | 2026. 4. 1～2029. 3. 31 | |
| 第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.takayama-bi.jp) | | |
| (備考) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|---|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.takayama-bi.jp) |
|---|